

# くすの木タイム学習指導案

第5学年

I 単 元 広がれ！うんまいおきりこみ

II 考 察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

### ③学びに向かう力・人間性等

おきりこみへの関心と、取組への自信をもち、新たな課題に自ら取り組む態度

### ①知識・技能

おきりこみの特徴・よさ  
思考スキルや合意形成を図る技能

### ②思考力・判断力・表現力等

おきりこみについての課題を見いだし解決する力

(2) 学習内容

・学習対象：おきりこみ

・学習事項：おきりこみの特徴・よさ 思考スキルや合意形成を図る技能

他者と関わることと、物事を多面的に俯瞰して見ることの大切さ

おきりこみから見た前橋市と自分とのつながり 自分自身の取組への成果の実感

(3) 本単元の学習とその価値

本単元は、子どもたちが、おきりこみの調理・試食や、おきりこみが地域で食べられてきた背景等の調査、レシピ開発をして捉えたおきりこみの特徴・よさを発信する学習である。その価値は以下のとおりである。

おきりこみとは、小麦で作った幅広の麺を、生麺のまま様々な野菜とともに煮込んだ、前橋市を中心とした群馬県の郷土料理である。前橋市を中心とした地域では、日照時間の長さや水はけのよい土質、空っ風による乾燥等の風土により小麦や野菜の生産が盛んに行われてきた。おきりこみは、そうした地場産の小麦や野菜をたくさん食べられる健康食であり、養蚕等で忙しい時期でもさっと手軽に作れる庶民の味として広まった。地域や家庭によって具材や味付け、呼び名が異なる独自の文化があり、地域の名産として一翼を担っている。一方で、近年の生活様式の変化により、おきりこみを調理できる人が著しく減少しており、その継承が難しいという問題が生じている。

子どもたちは、これまでの社会科やくすの木タイムの学習で地域への愛着をもち始めたり、地域課題へ取り組んで地域の役に立つことの充実感を感じたりしてきている。また、家庭科の学習が始まり、食への関心をもち始めている。さらに、おきりこみが給食の人気メニューとなるくらいおきりこみを好んでいる。このような子どもたちにとって、地域の名産のおきりこみが今後姿を消す可能性のあるこの問題は、追究する必要感のある問題である。

おきりこみを追究することは、前橋市の歴史や農業、気候・風土、人々の暮らしについて多面的に学ぶことになる。また、調理・試食や地場産の食材の調査を繰り返すことになり、食生活改善推進委員や郷土料理研究家、学校栄養士や友達と協働して取り組む経験を重ねることができる。さらに、おきりこみのレシピや発信方法を検討する中で、具材や味付けの工夫、試食会の実施やレシピ集作成・配布等の解決方法について、栄養面や調理面、おきりこみと前橋市のつながりの

面等から分析的に見ることを繰り返すことができる。そして、解決が難しいこの問題の解決に向けて他者と協働して取り組み、その成果を共有することは、学級集団や地域の一員としての自信をもつことになる。

これらの探究を通して、子どもたちは、郷土料理は地域の様々な要素によって作られ受け継がれていることや、時代の流れに合わせて変えるべきところと守るべきところがあることといった概念的な理解に至り、おきりこみが育まれた前橋市への愛着を高めていく。

#### (4) 今後の学習

ここでの学習は、6年「ふるさと再発見プロジェクト」において、子どもたちが前橋市の商店街の店や施設の手伝いをしながら商店街の人と繰り返し関わり、商店街の人のよさを発信するといった、商店街の人の立場から見た前橋市への愛着を高める学習へと発展していく。

#### 2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、4年「めざせ！心の親ぜん大使」において、目が不自由な方との関わったり、目が不自由な状態の疑似体験をしたり、目の不自由な方やその生活を支えるものの特徴・よさについて発信したりすることで、相手の状況や思いを考えて他者と関わることの大切さを体験的に学んできた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

① 目の不自由な方との関わりや目の不自由な状態の疑似体験をして、目の不自由な方やその生活を支えるものの特徴・よさを理解してきている。このような子どもたちが、おきりこみの特徴・よさを理解できるように、おきりこみの調理・試食や地場産の食材の調査等で専門家と情報交換できる場を繰り返し設定する。

目の不自由な方やその生活を支えるものの特徴・よさの発信に向けて、発信内容や方法をピラミッドチャートで序列化したり統合したりして選択できるようになってきている。このような子どもたちが、追究を通して得たおきりこみの特徴・よさを基にレシピの作り方や発信方法等を比較したり関連付けたりすることができるように、ベン図やウェビング図、マトリクス、PMN等のシートを選択したり自分で枠を作成したりする機会を設定する。

② 目の不自由な方やその生活を支えるものについて見いだした課題について明確な根拠のある解決方法を導けるようになってきている。このような子どもたちが、おきりこみについて見いだした課題について複数の根拠のある解決方法を導けるように、課題を解決した状態の具体図と、互いの解決方法を可視化して共有・検討する、ベン図やウェビング図、マトリクス、PMN等のシートの用意をする。

③ 目の不自由な方との関わりや目の不自由な状態の疑似体験を通して、目の不自由な方やその生活を支えるものへの関心や、課題の解決への自信をもてるようになってきている。このような子どもたちが、おきりこみへの関心を高めたり課題の解決への自信をもったりできるように、活動ごとに自己貢献度について他者評価をもらう振り返りシートを読み合う機会を設定する。

### Ⅲ 目標及び評価規準

#### Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

#### Ⅴ 本時の学習

- ねらい 開発したおきりこみを食べてもらう方法のメリット(P)とデメリット(M)について話し合うことを通して、複数のPやMを比較したり関連付けたりして、食べてもらう方法を導いている。
- 準備 振り返りシート PMの枠 PやMを書いた短冊 「若い人も作りたくなる」の具体図
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点									
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、「プロが作るからおいしい『店で商品化』がいい」と思ったけれど、友達の書いた「寒い中で食べるから温かみを感じられる『初市で試食会』がいい」を読むと、悩むな。</li> <li>・友達が前回の話合いでのぼくの発言に感心したと書いてくれ、嬉しいな。今日も頑張りたいな。</li> <li>・若い人も開発したおきりこみを作りたくなるのは『初市で試食会』と『店で商品化』のどちらかを決めるために、PとMを話し合いたいな。</li> </ul> <p>2 発信方法の案のメリット(P)とデメリット(M)を学級全体で話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの方法のメリット(P)とデメリット(M)についての友達との認識のズレや、課題の解決への自己貢献度に気付けるように、班で前時の振り返りシートを読み合うよう促す。</li> <li>○それぞれの方法のPやMを話し合っ、食べてもらう方法を決めるという本時の見通しをもてるように、「若い人も作りたくなる」の具体図を提示し、本時取り組むことを問いかける。</li> <li>○それぞれの方法のPやMを共有できるように、PMの枠に、前時に振り返りシートに書かれていたPやMを短冊で提示する。</li> <li>○PやMの情報の信頼性を共有できるように、PやMの根拠の発言を促す。</li> <li>○それぞれの方法のPやMを比較できるように、「若い人も作りたくなる」の具体図に照らして、PやMを書いた短冊を操作したり線をつないだりする。</li> <li>○決め手を見付けられなかった際には、自分たちがレシピ開発で大切にしてきたことを想起できるように、栄養士さんたちに提案した資料を提示し、街の人に伝えたいことを問いかける。</li> <li>○本時までの課題の解決状況を把握し、今後の活動について考えられるように、振り返りシートを用意し、「若い人も作りたくなる」の具体図に照らして、記入するよう促す。</li> </ul>									
<table border="1" data-bbox="178 786 796 1137"> <thead> <tr> <th></th> <th>初市で試食会</th> <th>店で商品化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの人に食べてもらえる(400~600食)</li> <li>・自分で調理するから具材や出汁にこだわられる</li> <li>・寒い中で食べるから温かみを感じてもらえる</li> <li>・直接説明できる</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期間食べてもらえる</li> <li>・プロが作るからおいしい</li> <li>・プロの人がおすすすめすると説得力がある</li> <li>・サイドメニューだから気軽に注文できる</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>M</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5時間しか提供できない</li> <li>・お金がかかる</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての班のメニューができない</li> <li>・レシピが少し変わることがある</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		初市で試食会	店で商品化	P	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの人に食べてもらえる(400~600食)</li> <li>・自分で調理するから具材や出汁にこだわられる</li> <li>・寒い中で食べるから温かみを感じてもらえる</li> <li>・直接説明できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期間食べてもらえる</li> <li>・プロが作るからおいしい</li> <li>・プロの人がおすすすめすると説得力がある</li> <li>・サイドメニューだから気軽に注文できる</li> </ul>	M	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5時間しか提供できない</li> <li>・お金がかかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての班のメニューができない</li> <li>・レシピが少し変わることがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○決め手を見付けられなかった際には、自分たちがレシピ開発で大切にしてきたことを想起できるように、栄養士さんたちに提案した資料を提示し、街の人に伝えたいことを問いかける。</li> <li>○本時までの課題の解決状況を把握し、今後の活動について考えられるように、振り返りシートを用意し、「若い人も作りたくなる」の具体図に照らして、記入するよう促す。</li> </ul>
	初市で試食会	店で商品化								
P	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの人に食べてもらえる(400~600食)</li> <li>・自分で調理するから具材や出汁にこだわられる</li> <li>・寒い中で食べるから温かみを感じてもらえる</li> <li>・直接説明できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期間食べてもらえる</li> <li>・プロが作るからおいしい</li> <li>・プロの人がおすすすめすると説得力がある</li> <li>・サイドメニューだから気軽に注文できる</li> </ul>								
M	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5時間しか提供できない</li> <li>・お金がかかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての班のメニューができない</li> <li>・レシピが少し変わることがある</li> </ul>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、『店で商品化』のPに「プロが作るからおいしい」があると思うよ。</li> <li>・だって、店の人が新商品を出す時には何度も試作すると話していたから、ぼくたちが作るよりおいしい商品になると思うよ。</li> <li>・友達の『初市で試食会』のP「直接説明できる」は、確かにそうだな。舌や目でおいしさや彩りを感じてもらっただけでなく、ぼくらの直接の説明で栄養満点のことやアレンジのしやすさ等も知って若い人も興味をもってもらえそうだな。</li> <li>・プロのおいしさもいけれど、若い人にはおきりこみの魅力を直接伝えられた方が、作りたくなってもらえるな。『初市で試食会』がいいな。</li> <li>・次回は、「作り方」等を伝えるために、初市の試食会で配る物を何にするか話し合いたいな。</li> </ul> <p>3 本時の学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『初市で試食会』には、自分たちのこだわりを形にできるよさがあるのをみんなと見付けられてよかったな。作りたいたいと思ってほしいな。</li> </ul>	<div data-bbox="853 1563 1406 1794" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">開発したおきりこみを食べてもらう方法の根拠を、複数のPやMを用いて記述したり発言したりしている。</p> <p style="text-align: center;">&lt;学習プリント・発言②&gt;</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今後の追究への意欲を高められるように、今後の活動を見通した発言をしたり、開発したおきりこみを試食会で発信したいという思いをもてたりしたことを称賛する。</li> </ul>									

指導と評価の計画（全70時間）

目標	前橋市の郷土料理であるおきりこみの調理・試食や、地域で食べられてきた背景等の調査、レシピ開発、それらの発信を通して、前橋市の歴史や農業、気候・風土、人々の暮らしがおきりこみと深い関係にあり、郷土料理として継承する価値を見いだす概念的な理解をし、自分のふるさと前橋市への愛着をもつ。			
評価 規準	<p>(①知識・技能)おきりこみのレシピや、おきりこみが食べられてきた背景、市民のもつおきりこみへの印象といったおきりこみの特徴・よさを理解している。 アンケート結果やおきりこみの特徴・よさを比較することや関連付けることができたり、他者の解決方法を受け入れて合意形成を図ったりしている。</p> <p>(②思考力・判断力・表現力等)おきりこみについての課題を設定し、おきりこみについて調べ、調べたことや他者の発言といった複数の情報を根拠として解決方法を導いたり実践したりしている。</p> <p>(③主体的に取り組む態度)おきりこみへの関心を高め、取組への思いや自信をもち、前橋市への親しみを感している。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
出 合 う	1	○これまでの対象や先輩たちが関わってきた対象を基に、対象に求める条件について話し合う。 課題：対象を何にすべきだろう。	○これまでの探究の経験から探究のよさを想起できるように、過年度のくすの木タイムでの具体的な活動とその時の成果が分かる振り返りシートや写真を提示する。	◇対象に求める条件として、人の役に立てることや試行できることといった、これまでの探究の経験を基とした思いを記述したり発言したりしている。 <学習プリント③>
	4	○対象の候補を挙げ、それらについてwebサイトや図書資料、専門家や学校栄養士へのインタビュー等で調査をし、対象を決める方法を話し合う。	○おきりこみや焼きまんじゅう、豚井等の前橋市の名物から対象を自分なりに決め、地域活性に一役買いたいという思いがもてるように、都道府県庁所在地別魅力度ランキングの上位の都市と最下位の前橋市の名産を比較する活動を設定する。	◇対象にしたいものを自分なりに決め、その理由として人の役に立てることや試行できることといった、対象に求める条件を記述している。 <学習プリント②>
	4 雑談?	○対象にしたいものとその理由を話し合ったり、試しの調理・試食や再度調査をしたりして、対象を決める。 学習のめあて：おきりこみを、レシピ開発をして広め、多くの人に喜ばれるの名物にしよう。	○対象の候補のおきりこみや焼きまんじゅう、豚井について、それぞれの特徴・よさを比較できるように、対象に求める条件の具体図と、マトリクス用の用意をする。	◇おきりこみを対象に決めた理由として、調理のレパートリーが広く試行できそうなことや前橋市民の役に立てそうなこと等、対象に求める条件を根拠に記述している。 <学習プリント②>
さ ぐ る ・ ま と め る	2 【情】 【課】	○おきりこみについての気付きや疑問を話し合ったり学校栄養士の話の聞いたりして、課題をつかむ。 課題：給食で喜ばれるおきりこみとは、どのようなものだろう。	○おきりこみを名産としている割に、市民の認知度が激減している状況を改善する必要感をもてるように、今までに得たおきりこみの特徴・よさを振り返る「意外だったこと」の視点を提示する。	◇今までに得たおきりこみの特徴・よさを基に、これから取り組みたいことを記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言②>
	2 【計】	○おきりこみのレシピの開発をする計画を立てる。	○課題を解決した状態を具体的に想定できるように、給食で喜ばれるおきりこみの特徴・よさを整理してまとめる模造紙の用意をする。	◇おきりこみの特徴・よさを記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
	3 【情】 【整】	○複数の家庭や店におきりこみの作り方や地場産の食材についてのアンケートをし、結果を集計する。	○おきりこみのレシピの多様性に気付けるように、「味付け」「食材」の観点を基にアンケート結果を整理する学習プリントの用意をする。	◇地域によるおきりこみの作り方の特徴や、家庭で人気のレシピを記述している。 <学習プリント①>
	4 【整】	○班ごとにおきりこみのテーマを決め、食材や味付けについて調べ、レシピを作る。	○伝統的な味や洋風等のテーマに合った食材や味付けを比較しながら選べるように、課題の解決した状態の具体図と、Y・X・Wチャートの用意をする。	◇テーマに合わせてY・X・Wチャートを作り、食材や味付けの根拠を記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
	4 【ま】 【情】 【整】	○調理・試食をし、その感想を伝え合う。	○開発したおきりこみについて「具材」や「調理の手軽さ」等の視点から多面的に評価できるように、課題の解決した状態の具体図と、PMNのシートの用意をする。	◇開発したおきりこみのよさ(P)と問題点(M)について「具材」や「調理の手軽さ」等の複数の視点から記述している。 <学習プリント・発言②>
4 【情】 【整】	○学校栄養士や専門家にインタビューしたりして、班でおきりこみのレシピを見直す。	○今までに得たおきりこみの特徴・よさを基に、レシピの改善策を導けるように、課題の解決した状態の具体図と、前回記入したPMNのシートの用意をする。	◇開発したおきりこみの改善策(N)の根拠を複数記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言②>	

<p>2 【ま】 【情】 【整】 2 国語9 【ま】 【情】 【整】 家庭 3 【情】 【課】 1 【計】 2 【情】 【整】 4 【整】 8 【ま】 3 【ま】 【情】 【整】 6 【情】 【整】 6 課外時間 【ま】 【情】 【整】</p>	<p>○調理・試食をし、その感想を伝え合う。</p> <p>○班で作るおきりこみのレシピを修正し、給食への提案資料を作って提案する。</p> <p>○校内児童に給食の献立化したおきりこみの感想のアンケートをし、今までの活動を成果を話し合う。</p> <p>○再度おきりこみの認知度調査をし、結果から気付きや疑問を話し合い、課題をつかむ。 課題：おきりこみを作る若い人を増やすには、開発したおきりこみをどう発信したらよいのだろう。</p> <p>○開発したおきりこみを発信する計画を立てる。</p> <p>○開発したおきりこみの発信方法の案を複数挙げ、それぞれの特徴や実現に必要なことを調べる。</p> <p>○開発したおきりこみの発信方法について、食べてもらう方法と知ってもらう方法に分けて整理し、話し合う。(3/4本時)</p> <p>○決めた発信方法の準備をしたり、発信に協力いただく地域の方と打合せをしたりする。</p> <p>○試しの発信をし、その感想を伝え合う。</p> <p>○専門家にインタビューしたり企業や自治体の発信の工夫の見返したりして、発信方法の工夫をする。</p> <p>○開発したおきりこみの発信をし、アンケート等の集計をし、開発したおきりこみの発信の成果を話し合う。</p>	<p>○開発したおきりこみについて前回のレシピを見直した視点以外の視点からも多面的に評価できるように、課題の解決した状態の具体図と、PMNのシートの用意をする。</p> <p>○給食への提案資料に載せるおきりこみの特徴・よさを選ぶように、課題の解決した状態の具体図と、マトリクスの用意をする。</p> <p>○校内児童の感想を基に課題の解決状況を評価できるように、課題の解決した状態の具体図とアンケート結果の用意をする。</p> <p>○おきりこみを発信する目的と相手を明確にできるように、作れる人や印象について年齢別に整理するシートの用意をする。</p> <p>○課題を解決した状態を具体的に想定できるように、おきりこみを作りたくなる発信内容について整理してまとめる模造紙の用意をする。</p> <p>○発信方法の案について調べたことを整理しながら比較できるように、課題の解決した状態の具体図と、メリット・デメリットの枠を示した学習プリントの用意をする。</p> <p>○それぞれの方法のメリットやデメリットを比較できるように、課題の解決した状態の具体図に照らして、PやMを書いて操作できる短冊を用意する。</p> <p>○目的や相手を意識して、おきりこみの特徴・よさを発信物にまとめられるように、課題の解決した状態の具体図と、企業や自治体の発信物を用意する。</p> <p>○作った発信物について「作りたくなる」や「若い人も見たくなる」の視点から多面的に評価できるように、課題の解決した状態の具体図と、PMNのシートの用意をする。</p> <p>○今までに得たおきりこみの特徴・よさを基に、発信物の内容やまとめ方の改善策を導けるように、課題の解決した状態の具体図と、前回記入したPMNのシートの用意をする。</p> <p>○アンケート結果を基に課題の解決状況を評価できるように、課題の解決した状態の具体図とアンケート結果の用意をする。</p>	<p>◇開発したおきりこみのよさ(P)と問題点(M)について前回のレシピを見直した視点以外の視点から記述している。&lt;学習プリント・発言②&gt;</p> <p>◇テーマに合わせてマトリクスを作り、提案内容の根拠を記述したり発言したりしている。&lt;学習プリント・発言①&gt;</p> <p>◇おきりこみの感想を基に、今までの取組の成果を記述している。&lt;学習プリント③&gt;</p> <p>◇年齢が若いほどおきりこみを作れる人が少なく、よい印象がないことを根拠に発信する目的と相手を発言したり記述したりしている。&lt;学習プリント・発言②&gt;</p> <p>◇おきりこみの特徴・よさを基に、発信内容を記述したり発言したりしている。&lt;学習プリント・発言①&gt;</p> <p>◇調べたことを基に、発信方法の案の長所と短所を記述している。&lt;学習プリント・発言②&gt;</p> <p>◇開発したおきりこみを食べてもらう方法の根拠を、複数のPやMを用いて記述したり発言したりしている。&lt;学習プリント・発言②&gt;</p> <p>◇開発したおきりこみの特徴・よさについて目的や相手に合わせた表し方で記述している。&lt;学習プリント・発言①&gt;</p> <p>◇作った発信物のよさ(P)と問題点(M)について「作りたくなる」や「若い人も見たくなる」の複数の視点から記述している。&lt;学習プリント・発言②&gt;</p> <p>◇作った発信物の改善策(N)の根拠を複数記述したり発言したりしている。&lt;学習プリント・発言②&gt;</p> <p>◇おきりこみの感想を基に、今までの取組の成果を記述している。&lt;学習プリント③&gt;</p>
<p>広 げ る</p>	<p>○1年間の取組の成果を基に、今後の実社会との関わりを話し合う。</p>	<p>○前橋市への愛着の高まりを実感できるように、単元始めの前橋市への印象を記述した学習プリントと掲示物の用意をする。</p>	<p>◇高まった前橋市への思いを記述している。&lt;振り返りプリント③&gt;</p>

※【課】：課題設定 【計】：計画立案 【情】：情報収集 【整】：整理・分析 【ま】：まとめ・表現